

式辞

今日は少し肌寒い日となりましたが、最近はおたかな日差しと、さわやかな緑の風が、九条の丘に一日一日と春の訪れを告げています。

今日ここに、本校父母教師会副会長小野寺健輔様、そして保護者の皆様のご臨席を賜り、気仙沼市立九条小学校第五十八回卒業式を挙行できますことに、心より感謝申し上げます。

さて、四十九名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。今、一人一人に卒業証書を授与しました。卒業証書を受け取る皆さんの表情からは、卒業とこれから進む未来に対する決意と希望を感じ取ることができました。そうです、この卒業証書は、小学校の課程を修了したことの証であるとともに、義務教育の第二段階、中学校での新たな生活に向けて、自らの力で歩み出すためのチケットでもあります。卒業生の皆さん、自信をもって、大きな一歩を踏み出してください。

私は、皆さんとは、わずか一年間だけのおつきあいでしたが、そう感じさせない親しみやすさと素直さを、あなた達は持ち合わせていました。個人的には4年ぶりの学校勤務、大きな不安を抱いて九条小学校に赴任してきた私ですが、その不安を一気に打ち消してくれたのは、最高学年である6年生の皆さんでした。「新しい校長先生、おはようございます。」「分からないことがあったら何でも聞いて下さい。」「うちのお母さんがよろしくと言ってました。」など、皆さん方から声をかけてもらいました。そんなあなたたちを見て、「ああこの学校でやっていけそうだ。この子

供たちのために一生懸命頑張ろう」と心に誓いを立てたのを覚えています。

また、あなたたちは、友達や仲間の個性を認め、尊重し、自分のまわりの人を大切に作る姿勢が抜群でした。学校は生きものです。人と人が一緒に生活すれば、時には摩擦やすれ違いが生じます。しかし、そのような時に、あなた達はお互いに歩み寄り、許し、解決し、前を向いて共に歩むことができました。お互いの個性を認め合いながら、集団としてもどんどん成長していく学年でした。

そして、もう一つ。日常の生活や行事では、あなた達は、学校のリーダーとして、下級生の模範となり、その姿に「あの先輩のようになりたい。」と思った後輩も多くなりました。あなたたちのふるまいは、下級生に「憧れ」を確かに与えてくれました。

気仙沼市内の小学校で児童数が二番目に大きい本校にあつて、皆さんは学校のエネルギーの中心であり、頼もしい存在であり、そんな皆さんと一緒に九条小学校で生活できたことを大変うれしく思います。

さて、卒業に当たり、みなさんにはなむけの言葉を贈ります。

一つ目は、「目に見えないものを大切にしたい」ということです。フランス人のある作家は「星の王子さま」という小説の中で、「大切なものは目には見えない」という言葉を読者に投げかけました。目には見えないけれど心で見ると大切なものは確かに見えるんだよと、私達に教えてくれています。

私達日本人は、あの東日本大震災後、人に対する優しさや、人の心の温かき、人を思いやることの大切さ、そして、人間のすばらしさを、身をもって、そして心で感じる事ができました。「目に見えないもの」とは「思いやり」と置き換えることができるでしょう。「人への思いやり」や「優しさ」こそ、人間の本当の強さであると思います。「思いやり」は、どんなものにも立ち向かえる大きな力である・・・私は、そう思います。

二つ目は、最近読んだ本の一部からです。それは 次のような言葉です。「本当に賢い人間は、人を馬鹿にしない。本当に強い人間は、弱い立場の人をいじめたりはしない。本当に優しい人間は、自分を大切にし、それ以上に 自分以外の人を大切にする。人間の値打ちは、地位や名誉・財産などではなく、自分がどれほど 人の役に立てたかで決まる。」
以上二つの言葉を贈ります。

終わりにになりましたが、保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。もちろん、今日の日までには、大変なご苦労があったのではないかと推察いたします。しかし、保護者の皆様・ご家族のつくしみと愛情あふれる子育てがあったからこそ、こんなに立派に成長され、今、区切りの旅立ちの時を迎えられているものと思います。心から御祝いを申し上げます。

さて、卒業生の皆さん、最後の言葉です。あなた達は大地震でこの地方が大きな被害を被ったにも関わらず、復興とともに力強く成長してきました。御家族の皆さんは、大震災後、仕事や生活を立て直すことはもちろん、あなた達

の笑顔、泣き顔、寝顔を見る度に、「この小さな我が子を何とか育てなければ」と必死だったはずです。その姿を感じて育ってきたあなた達は、今やこの九条小学校を確かに支えてくれました。また、一昨年度からのコロナ禍にあつて、いろいろなことで学習や生活に制限があつたにも関わらず、できる限りの工夫をしながら、自分たちで生活を楽しみ、学校全体に投げかけをし、この九条小学校をよりよい方向へ導いてくれました。

あなた達が九条小学校の6年生で本当によかったです。心からそう思います。校歌の三番にあるように、広い世界があなた達を呼んでいます。このすばらしき四十九名の卒業生の皆さんの限りなき活躍を心からお祈り申し上げ、校長式辞といたします。

令和四年三月十八日

気仙沼市立九条小学校 校長 齋藤博厚